

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

12

Dec 2025
Vol.367



【特集&今月の表紙】

さあ、どんな**未来**を描こうか？

【ときめき人】

石ノ森農場

— CONTENTS —

- P2 【特集】さあ、どんな未来を描こうか？
- P12 令和6年度決算報告
- P14 市職員の給与など
- P20 ホットライン
- P22 市民の広場
- P24 健康に関する情報
- P26 情報広場
- P32 ときめき人

「まちからにぎわいが減ってきた」
そう聞くようになったのはいつからかな。
時代の流れだし、
しょうがないかもしれないけど、
でも…このままだとちょっと寂しいじゃん。
だからさ、
「こんなことやったら楽しいんじゃないか」
「こんな場所があれば面白いよね」って、
みんなで話し合っ
て、
イベントを企画してみただよ。
上手くいくか分からなくても、
「こりあえずやってみっぺし」って。
そうしたら、きっと
喜んでくれる人がいるはずだから――。

【特集】

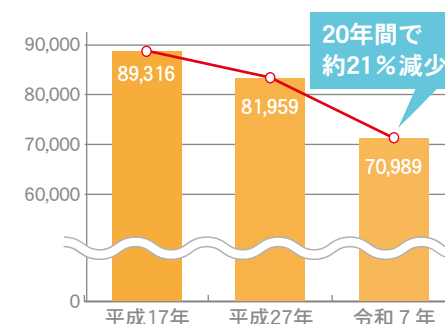
さあ、どんな未来を描こうか？

さまざまな要因から
薄れるまちのにぎわい

とある取材先で、「昔はもつとにぎやかだったけど、人が減ったりコロナだったりで、なんだかまちが静かになってしまったように感じるね」と、寂しそうな表情を浮かべて話す人に出会いました。

かつては、季節ごとの行事や祭り、商店街のにぎわいなど、人と人とが自然に顔を合わせ、つながりを育むことができる場が、地域内に数多くありました。しかし、人口減少や少子高齢化といった全国的な社会問題に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年では多くの地域イベントが規模の縮小や中止を余儀なくされてい

■登米市の人口推移グラフ(単位:人)



※平成27年までは「国勢調査」に基づく実績値、令和7年は9月末時点の人口数

ます。人が気軽に集まれる場や、交流の機会が減ったことで、まちのにぎわいは昔のように身近なものではなくなりつつあります。

また、急速な時代の変化によって、欲しいものは出かなくてもインターネット通販で手に入り、趣味や娯楽はスマートフォンからいつでもどこでも楽しめるようになってきました。その結果、人々の価値観は多様化し、人と人との交流を煩わしいと感じる人さえ出てきています。

にぎわいはあっても面倒？
でも、なくなると寂しい

では、まちのにぎわいがこのままなくなってもよいかと聞かれると、多くの人は「そうではない」と答えるはずです。少し面倒だと感じながらも、心のどこかで求めている「にぎわい」は、私たちや、まちの未来に対して、どんな効果をもたらししてくれるのでしょうか。

今回の特集では、今ある地域資源などを活用しながら、まちというキャンバスに、自分なりの明るい未来を描き始めた人たちの活動を通じて、まちのにぎわいの意義を探っていきます。



123「100人100色アートピクチャー+」のブースでは、参加者が思い思いに描いた絵や写真を合体させて、一枚の大きな絵を制作4完成した作品を前に運営メンバー全員で「LINK」の決めポーズ！56コラボクレープの販売や、軽音ライブ企画など、「とめまる2025」では多くの学生チャレンジ企画が実現



「欲しい未来は自分たちで創る」

若者の思いを実現する

地域活動の学びと実践の場

Instagram



市内の中高生が集う座談会「LINK」。2019年の結成以来、「遊びから学びへ」「生きるための力を身に付ける」をコンセプトに、市民活動に携わる大人を交えた意見交換会を開きながら、若者の思いを形にするための企画立案・運営に挑戦しています。



Interview 協力者の声

若者の挑戦を後押しし、「一緒にやる」ために



志田 敏典 さん
とめまる実行委員長
LINK代表理事

「とめまる」では、LINKをはじめ、高校生の「総合的な探求の時間」の授業から生まれたチャレンジなど、「挑戦したい」と考える若者に、ブース運営や企画に関わる場を提供しています。自分で企画したものを実現まで持って

いくことは、正直、大人でも難しいこと。それでも、やりたいことに臆せず挑戦する子どもたちの姿は、純粋にかっこいいと常々感じています。

「地域に若者がいない」と言う人もいますが、全力でがんばっている若者たちは確かにいます。地域の皆さんにも、彼らのがんばりを見ていただき、若者たちと「一緒にやる」姿勢を持ってもらえたらうれしいです。若者たちに「登米市だからこそ挑戦できた」と思ってもらえるよう、まずは自分自身、これからも協力していきたいです。

もあり、最終的に2000人を超える人が参加。個性が輝く、カラフルで楽しい作品が完成しました。

「来た人が心から楽しんでいる様子が印象的でした」と振り返る菅原さん。反省点も少なくありませんでしたが、全力で挑戦したからこそ得られた学びも多く、「次はもっといい企画を考えて、盛り上げる事ができると思います」と、手応えを語ってくれました。

「LINKでは、夢の実現に向けてがんばるメンバーを募集中です。私たちと一緒に、チャレンジし



▲多くの人が集まれば、そこには世代を超えた交流が生まれる。「関わった人が喜んでくれることが一番のやりがいです」と、菅原さんはほほ笑みます

てみませんか」とにつこり。これからも、LINKの挑戦は続いています。



菅原 愛菜 さん
LINK学生リーダー

5月24日、エスファクトリー中江中央公園を主会場に開催された「とめまる2025」。キッチンカーや出店、体験ブースなどが立ち並び、中高生が中心となって運営したアート企画「100人100色アートピクチャー+」には、子どもから大人まで、幅広い年齢の人々が訪れ、会場には絶えず笑顔が溢れていました。

「LINKは、夢を応援してくれて、自分らしくいられる場所。そんな場所を『もっと多くのの人に知ってもらいたい』という思いから、この企画はスタートしました」。そう話すのは、LINKの学生リーダーを務める菅原さんです。

毎月の座談会で出たメンバーの思いをイベントで形にするために、学生たち自身で一から企画を



こうして迎えたイベント当日、「何か面白そうなことをやってるよ！」と人が人を呼び、LINKのブースは終始多くの人でにぎわいました。積極的な呼び込みの効果も受けながら、協力の輪を広げていきました。

立て、実現に向けて準備を進めてきました。「自分らしく、好きなことに熱中できる場」を伝える方法として考えたのが、参加者と一緒に好きな絵を自由に描くアート企画。絵が苦手な人にはカメラを貸し出すことで、写真でも参加できるようにするなど、誰もが気軽に楽しめる工夫を凝らしました。準備の過程で当日の人手が足りないことが分かったと、美術部の友人伝いにボランティアを募集。LINKを卒業した先輩たちのサポートも受けながら、協力の輪を広げていきました。



▲構想期間は半年。協力者の大人にも相談しながら、内容や準備物、役割分担まで、全て自分たちで考えています



1 2つの野外ステージでは、弾き語りやダンス、バンド演奏など、多彩な出演者が祭りに彩りを添える2 祭りのポスターは市内の高校生がワークショップ形式で制作3 「狙いを定めて…ここだ！」通りの真ん中でスイカ割り4 厄払いの獅子舞が人々の頭をかんで回る5 元気いっぱいの「こどもみこし」は見る側も思わず笑顔に



「佐沼の夏と言えばおみこし」

マルシェと組み合わせた

新たなお祭りとして復活

津島神社と羽黒神社の2つの神社が向かい合う、全国的にも珍しい特徴を持つ一市八日町通りでは、旧暦6月に両神社の例大祭と地域の夏祭りが一緒に行われ、「六月祭」の愛称で親しまれてきました。令和の時代になり、「六月祭」は新たな形で復活しました。



Interview 参加者の声

この場所で演奏した「青春」は一生の思い出

佐沼夏祭りの高校生バンドステージで演奏したことがあり、今年は六月祭で演奏できると聞いて参加しました。楽しすぎて全力ではしゃいでしまいました。来年も開催されたらうれしいですし、その時はまた演奏しに来たいです。



佐藤 詩織 さん
＝登米町北沢＝

さんが転んだ」ゲームやスイカ割りにも多くの人が集まり、たくさん笑顔で溢れていました。「参加者からの『やってってくれてよかった』という声が届きになりました」と振り返る三浦さん。「短い期間で一から祭りを作り上げたため、準備不足だった点は多々ありましたが、地域の理解と協力があつたからこそ、やり切ることができました」と感謝を口にします。「時代とともに形が変わったとしても、地域の伝統を未来につなぐために、勇気を出して立ち上が

カッコいいおみこしに憧れて3度目の参加



山田 悠陽 さん
＝東和町米谷8区＝

小さい頃、大人の女の人がおみこしを担ぐ姿を見てカッコいいと思ったので、こどもみこしに参加しています。重くて大変でしたが、みんなで協力して運んだ後の達成感が最高でした。これからも、夏はおみこしに参加したいです。



▲お祭りは、郷土愛や地域のつながりを育む大切な機会。時代に合わせて変化しながらも、地域の伝統や誇りを未来につなぐために動き出している人がいます

る人が増えてくれたらうれしいですね。そう語る三浦さんの目には、決意の光が宿っていました。



▲昭和の時代に撮影された六月祭の時の写真。三浦さんの親世代までは「六月祭」の呼び名が当たり前だったそう

「セイヤー」「ソイヤー」の勇ましいかけ声と共に、4基のみこしが行き交う。力強く練り歩く。7月26日、一市八日町商店街で開催された「六月祭」には、夏の風物詩のみこし巡行を一目見ようと、多くの人が訪れました。「この時期に、この場所で開催するお祭りの大切さを、子どもたちの世代につないでいきたかったんです」。そう話すのは、六月祭実行委員長の三浦さんです。「六月祭」は、旧暦6月に行われていた神社の例大祭を起源とし、400年以上の歴史を持つ祭りの呼び名です。時代の移り変わりとともに「佐沼夏祭り」へと名称を変

当日、沿道には屋台やキッチンカーなど約30店が立ち並び、商店街通りにはぎわいの様相を呈していました。みこし巡行では、津島、羽黒の両神社に八幡神社やとめ青年会議所も加わった4基のみこしが、迫力満点の勇壮な練り歩きを披露。2つの野外ステージや、歩行者天国の通りを活用した「だるま

え、郷土芸能の奉納や花火の打ち上げなどの要素を取り入れながら地域で長く親しまれてきました。令和7年、佐沼夏祭りの会場移転をきっかけに、一市八日町通りという地域資源を活用し、地域の祭りの文化を後世につないでいきたいとの思いから、三浦さんをはじめとする地域住民有志が実行委員会を組織。おみこしを中心に据えながら、マルシェなどの要素を取り入れ、懐かしくも新しい祭りとして「六月祭」は再び息を吹き返しました。



三浦 智 さん
六月祭 実行委員長

Color
4

ご縁がつなぐ地域と音楽の輪



「子どもも大人も楽しめる遊び場に」

日中の飲み屋街通りで

食×音楽のイベントを開催

Instagram



2021年に始まった「なかえ裏通りご縁日」は、飲食などの屋台と、アマチュアを中心としたバンドや弾き語りのライブを組み合わせた「食と音楽」のイベントです。「なかえ裏通り」の愛称で知られる飲み屋街通りを会場に、年に2回、春と秋に開催しています。

◀金魚すくいやクレープ作りなど、子ども向けの体験コーナーが充実

Interview



地紙 勝則 さん
なかえ裏通りご縁日実行委員会
委員長

**ご近所さんの力を集結
新たな遊び場を創出**

「なかえ裏通りご縁日」は、祭りやイベントの中止が相次いだコロナ禍に「子どもたちのための遊び場を作ろう」と、なかえ裏通り周辺に店を構えるご近所さんが協力して始めた小さなお祭りです。日中の飲み屋街の空きスペースを活用し、飲食や遊びの屋台が並ぶ「縁日」のようなイベントを目指して、子どもや親子連れが楽しめる催しとしてスタートしました。

当初は音楽と全く関係のないイベントでしたが、4回目の開催となった2022年秋、「軽音部の中高生に演奏の機会を作りたい」というメンバーの発案から、学生のためのライブ企画が始まりました。ノウハウが全くない中、地元で活動する音響スタッフやバンド好きの大人たちの力を借りて、野

外ステージのライブを実現。すると、子どもたちの演奏に感化された大人たちから、「自分も久々にバンドをやりたいくなった」「俺たちも出演していいかな」という声が上がることがようになりました。その次の年から年齢を問わず出演OKになると、多くの音楽好きが集まるようになり、大人も子どもも一緒に楽しむイベントとして定着。今では、学生バンドの演奏を親御さんや大人たちがノリノリで聴いている姿や、親の演奏を子どもたちがニコニコ聴いている姿も見られるようになり、その光景に毎回胸が熱くなっています。

また、飲食の屋台は居酒屋からの出店が中心で、開催当初はお店のPRが目的の部分もありましたが、「小さな子どもがいて夜の居酒屋に行きづらい」という親からも、日中のイベントで子どもと一緒に居酒屋の料理を味わうことができると好評です。

準備は毎回大変ですが、「ご縁日」を通じてご近所さん同士の絆も深まり、今では阿吽の呼吸で開催できています。イベントを楽しむに、これからは続けていきますので、ぜひ、遊びに来てください。

Color
3

森波が生み出す波



「音楽を通じて人がつながる場に」

能舞台を活用して

野外音楽イベントを開催

Instagram



2008年に始まった音楽イベント「森波」は、登米町の能舞台「伝統芸能伝承館『森舞台』」を会場に、ソウルやヒップホップなどのブラック・ミュージックを中心としたアーティストを招きながら、本格的な音楽を多世代で気軽に楽しめる場を実現しています。

◀ステージの合間に、市内のダンサー、DJ、ラッパーのライブも実施

Interview



菅原 和彦 さん
森波実行委員会
副代表

小さな波がやがて大きなうねりとなるように

「森波」は、もともと市内のカフェで不定期に開催されていたイベントをきっかけに、そこに集まった音楽好きが実行委員となって始めた野外音楽イベントです。県内外から毎回開催を楽しみに来てくれるお客さんたちや、地域の皆さんの理解と協力のおかげで、震災のあった2011年を除き、これまで毎年開催を続けてこれたことが誇りです。

初めの頃は登米森林公園のキャンプ場を会場に夜通しで開催していましたが、回を重ねるにつれ、「音楽好きだけが楽しめるイベントではなく、世代を超えて気軽に音楽を楽しめる場にしたい」という気持ちがメンバー内で強くなってきました。そういった流れを受けて、よりアクセスしやすく、音楽

的・文化的な背景もある「森舞台」へと会場を移し、開催時期も夏から秋に変えるなど、少しずつ変更を加えながら、よりよい形を模索してきました。また、地域の若者たちにも音楽文化に触れてもらうために、高校生以下を入場無料としているほか、子どもが産まれても音楽を楽しむことを諦めないようにと、おむつ交換・授乳スペースも完備して開催しています。

こうした工夫の積み重ねによって、今では多くの親子連れが訪れるようになり、会場内で子どもたちが遊び回ったり、座敷スペースで昼寝をしたりする光景もよく見られます。近所のおじさんおばさんがふらっと聴きに來ることも増えて、本格的な音楽を気軽に楽しめる場として、地域になじむことができてきたと感じています。

「森波」は、音楽をベースに、人と人、人とカルチャーが出会い、つながりが生まれる場になることを目指しています。「森波」をきっかけに、共通の趣味を持つ仲間ができたり、好きなことややりたいことを見つけた人が新しいイベントを立ち上げたりするような循環が生まれるようになれば、最高にうれしいですね。

にぎわいがまちと人の未来をつなぐ

地域を盛り上げようと立ち上がる人が徐々に増え、まちに変化が起きようとしています。では、なぜ今、改めて「にぎわい」を生み出していく必要があるのでしょうか。地域のにぎわいの意義や、持続的な取り組みとして育てていくために大切なことについて、本市と連携協定を結ぶ東北工業大学で、地域連携アドバイザーを務める菊地名誉教授に話を聞きました。

Interview



菊地 良一 名誉教授
東北工業大学
地域連携アドバイザー

1953年生まれ。民間の建築設計事務所勤務を経て、83年に東北工業大学工学部工業意匠学科助手として着任。道の駅津山もくもくランド復興活性化構想の策定に関わるなど、本市との関わりも深い。2024年に副学長を退任した後、東北工業大学地域連携センターで地域連携や産学連携などの業務を担当する。

人は一人では生きていけないから

かつて日本には家制度が色濃く存在し、それが地域単位でも機能していたことから、地域内のつながりは強固なものでした。また、地域の文化に根差した年中行事が月に一度はあり、その中で世代間交流が頻繁にあることで、文化の伝承や、社会で生きる知恵や技を学ぶ場となっていました。

しかし、都心への人口流出や核家族化の進行などによって、地域のあり方は大きく変化し、地縁的な人のつながりは徐々に薄れ、維持することが難しくなっています。そうした中、東日本大震災やコロナ禍を経て、「人は一人では生きていけない」ことが改めて浮き彫

りになりました。有事の際に助け合い、日常の暮らしを豊かにするために、人のつながりを生み出す仕組みを、時代に即した形で再構築していくことが求められています。

地域資源を活用してにぎわいからつながりへ

イベントを通じたにぎわいの創出は、地域のつながりを生む有効な手段の一つです。地域にある資源を活用しながら、人々が主体的に関わりたくなるような仕組みを取り入れることで、より効果的な取り組みとなります。例えば、登米市には農林畜産業や加工業など、暮らしと結び付いたモノづくり産業が多くあります。都市部では

得がたい、こうした地域資源を活用し、地域文化を実学として楽しく学び、体験できるイベントができれば、文化伝承や世代間交流のきっかけとなるほか、市外からも人が訪れ、登米市ファンの獲得も期待できます。

また、単発のイベントによる一過性のにぎわいで終わらせないためには、各団体に共通するテーマや思いを軸に、クラスター（房）のようなつながりを生むことも大切です。新しい要素をきっかけに各団体がつながり合い、横断的に連携し、交流を重ねることで、より強固で持続的な関係が築かれます。

さらに、人材マップやイベントカレンダーを作成し、地域の人材や活動を「見える化」することも効果的です。人々の生活圏が広がり、地域の人の顔が見えづらくなっている今だからこそ、情報を整理し、可視化することで、目的に応じたつながりや日常的な交流が生まれるきっかけになります。

こうした取り組みを通じて生まれた人と人との出会いや、関わり合いの積み重ねが、地域の絆を育て、次の世代に受け継がれるまちの力になっていくのです。

未来を描くのは、私たち。



今回の取材では、地域ににぎわいや活気をもたらす、さまざまな取り組みに関わる人たちに話を聞きました。活動の規模や雰囲気集まる人の層や特徴はそれぞれ異なりますが、共通していたのは「まちの今と未来を見据え、上手にいくか分からなくても、まずは行動してみる」という思いでした。

震災やコロナ禍を経て、人のつながりの大切さを改めて実感した私たち。まちを見渡せば、今回紹介したもの以外にも、さまざまなテーマや思いから集まる活動やコミュニティが、地域に息づいていることに気が付くはず。

まちの営みを未来へつないでいくためには、まずは一歩、まちへ繰り出してみよう。そこで、自分にとって心地よい場所を見つけたら、新たに生み出したりすること。そして、にぎわいの種を大事に育て、人々の絆を深めていくことこそが、それぞれの思い描く「明るい未来」を形づくるきっかけになることでしょう。

まちというキャンパスの上に、あなたも明るい未来を描き始めてみませんか。どこまでも無限に広がる可能性を信じて、自由に、そして自分らしく――。

令和 6 年度
歳出決算額を市民一人
当たりで見ると… 65 万 568 円

住民基本台帳人口
71,370 人
(令和 7 年 3 月末人口)

総務費
8 万 3,019 円

行政の運営、庁舎や財産の維持管理などに使われる経費



民生費
21 万 665 円

赤ちゃんからお年寄りまで幅広い福祉の充実などに使われる経費



衛生費
6 万 8,282 円

保健衛生、健康づくり、ごみ対策などに使われる経費



農林水産業費
4 万 2,562 円

農業や畜産などの振興と育成のために使われる経費



土木費
4 万 7,161 円

道路や公園などの整備に使われる経費



消防費
2 万 8,154 円

火災や自然災害などの防災活動のために使われる経費



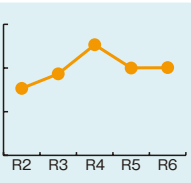
教育費
7 万 5,184 円

学校などの整備や教育振興に使われる経費



公債費
7 万 5,797 円

借り入れた市債の元利償還費などに使われる経費



その他
1 万 9,744 円

議会費・労働費・商工費・災害復旧費



【問い合わせ】
まちづくり推進部財政経営課
☎0220(22)2159

一般会計歳出総額 464億 3,105万円

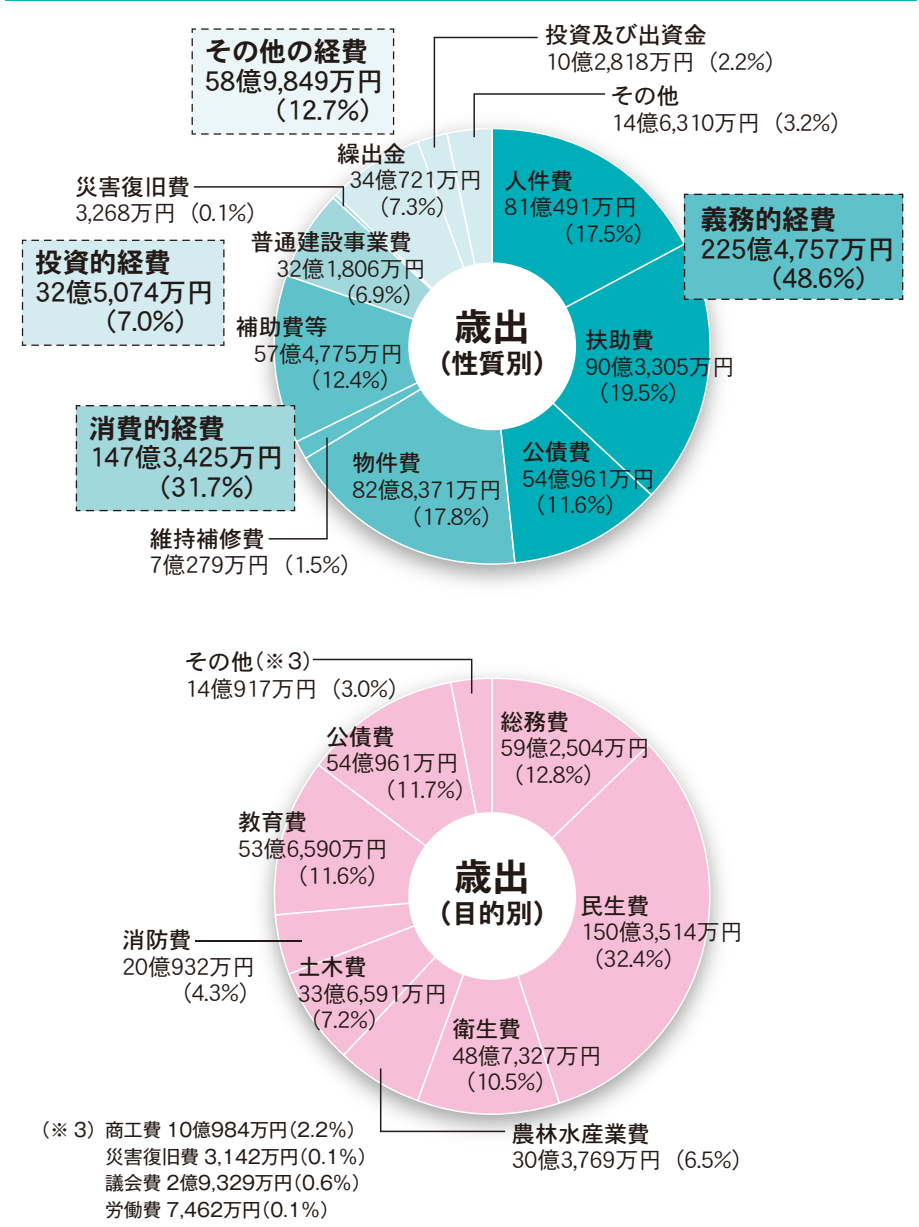


表 3 令和 6 年度決算に基づく資金不足比率

区分	資金不足比率	資金不足額	事業の規模	経営健全化基準
① 水道事業会計	—	—	22 億 5,628 万円	20.0%
② 下水道事業会計	—	—	9 億 3,326 万円	20.0%
③ 病院事業会計	—	—	61 億 4,024 万円	20.0%
④ 老人保健施設事業会計	—	—	4 億 2,819 万円	20.0%
⑤ 宅地造成事業特別会計	—	—	0 万円	20.0%

財政の健全化判断比率は、自治体の財政破綻を未然に防ぐために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算出されるものです。

令和 6 年度の各指標は表 2 のとおり全て基準値を下回っています。また、表 3 のとおり全ての会計において資金不足額はありませんでした。

75 億 316.8 万円(同 15.8%)、国庫支出金が 68 億 758.1 万円(同 14.4%)などとなっています。

このうち、市税など自主財源の合計は 138 億 463.4 万円で歳入全体の 29.1%、残りの 70.9% が地方交付税や国庫支出金などの依存財源といわれるものです。この依存財源の割合が高いことから、国や県などの社会情勢の影響を受けやすい財政基盤となっています。

財政健全化の目安 全基準値をクリア

一般会計歳入総額 476億 1,079万円

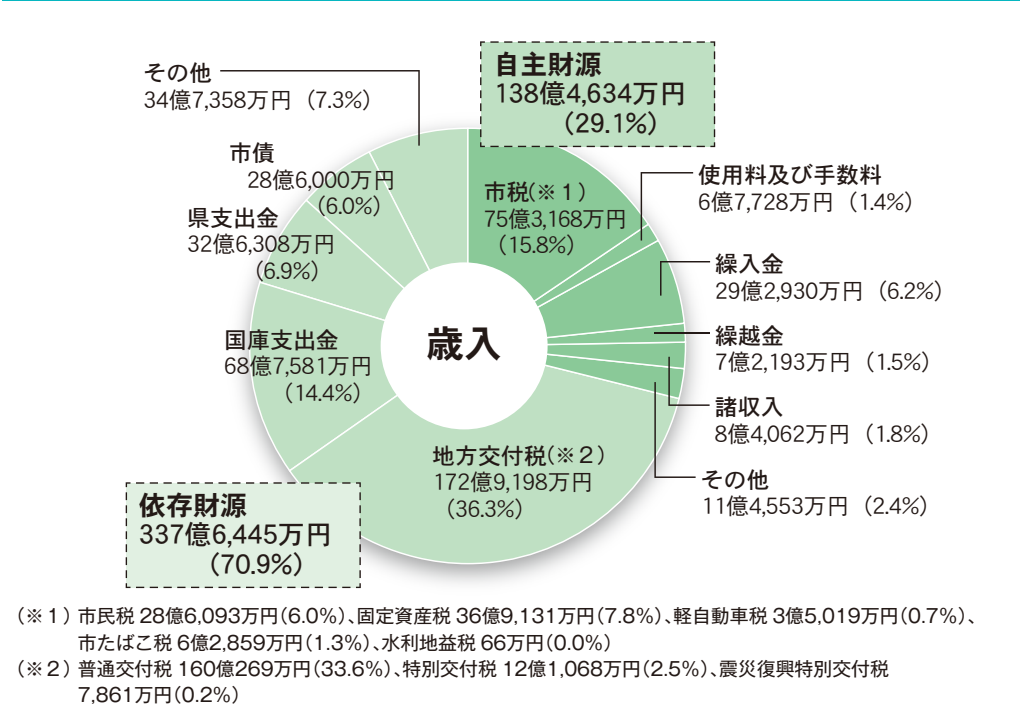


表 1 会計別決算状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		476 億 1,079 万円	464 億 3,105 万円	11 億 7,974 万円
特別会計	国民健康保険	92 億 7,224 万円	90 億 3,664 万円	2 億 3,560 万円
	後期高齢者医療	10 億 6,073 万円	10 億 4,190 万円	1,883 万円
	介護保険	108 億 7,903 万円	106 億 2,744 万円	2 億 5,159 万円
	土地取得	4 万円	4 万円	0 万円
会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
企業会計	水道事業	収益的収支 28 億 2,395 万円 資本的収支 14 億 3,605 万円	26 億 4,739 万円	1 億 7,656 万円 △ 11 億 3,164 万円
	下水道事業	収益的収支 36 億 6,930 万円 資本的収支 21 億 8,573 万円	35 億 4,322 万円	1 億 2,608 万円 △ 9 億 1,942 万円
	病院事業	収益的収支 73 億 8,423 万円 資本的収支 13 億 2,677 万円	81 億 6,375 万円	△ 7 億 7,952 万円 △ 6,662 万円
	老人保健施設事業	収益的収支 4 億 9,369 万円 資本的収支 5,990 万円	5 億 3,769 万円	△ 4,400 万円 13 万円

※企業会計における収支不足額は、内部留保資金などにより補てんしています

表 2 令和 6 年度決算に基づく健全化判断比率

指標名	内容 (標準財政規模に対する割合)	健全化判断比率	基準値 (令和6年度)	
			早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	—	11.97%	20.00%
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む赤字額の大きさ	—	16.97%	30.00%
③ 実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	7.8%	25.0%	35.0%
④ 将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	60.3%	350.0%	—

令和 6 年度一般会計歳入決算額は 476 億 107.9 万円で、内訳は、地方交付税が 172 億 919.8 万円(歳入全体の 36.3%)、市税が 75 億 316.8 万円(同 15.8%)、国庫支出金が 68 億 758.1 万円(同 14.4%)などとなっています。

このうち、市税など自主財源の合計は 138 億 463.4 万円で歳入全体の 29.1%、残りの 70.9% が地方交付税や国庫支出金などの依存財源といわれるものです。この依存財源の割合が高いことから、国や県などの社会情勢の影響を受けやすい財政基盤となっています。

令和 6 年度の各指標は表 2 のとおり全て基準値を下回っています。また、表 3 のとおり全ての会計において資金不足額はありませんでした。

75 億 316.8 万円(同 15.8%)、国庫支出金が 68 億 758.1 万円(同 14.4%)などとなっています。

このうち、市税など自主財源の合計は 138 億 463.4 万円で歳入全体の 29.1%、残りの 70.9% が地方交付税や国庫支出金などの依存財源といわれるものです。この依存財源の割合が高いことから、国や県などの社会情勢の影響を受けやすい財政基盤となっています。

地方交付税などの 依存財源が約 71%

小学校施設整備事業や 物価高騰に対する支援を実施

市は、財政状況を随時皆さんにお知らせしています。皆さんが納めた税金が、この 1 年間でまちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。

■職員手当の状況（令和7年4月1日現在）

手当の種類	内容			
期末手当 勤勉手当	(令和6年度支給割合)			
		期末手当	勤勉手当	合計
	6月期	1.225月分	1.025月分	2.25月分
	12月期	1.275月分	1.075月分	2.35月分
	職務上の段階、級等により加算措置あり			
退職手当	(支給率)	自己都合	勤奨・定年	【その他の加算措置】 定年前早期退職特例措置 (2%～20%)
	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	
	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	
	勤続35年	39.7575月分	47.709月分	
	最高限度額	47.709月分	47.709月分	

人事行政の運営等の状況

■職員の勤務時間（令和7年4月1日現在）

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00

■年次有給休暇の取得（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

総付与日数 A	総取得日数 B	対象職員数 C	平均取得 日数 B/C	取得率 B/A
50,954日	15,744日	1,355人	11.6日／年	30.9%

■育児休業の取得

区分	男性	女性
令和6年度新たに育児休業を取得した者	11	11
令和5年度以前から引き続いている者	1	18

■分限処分（令和6年度）

区分	降任	免職	休職	合計
心身の故障の場合	0	0	35	35

■懲戒処分（令和6年度）

区分	免職	停職	減給	戒告	合計	訓告等
法令に違反した場合	0	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合	0	1	0	1	2	18
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行があった場合	0	0	0	1	1	84

■職員の勤務成績の評定

令和6年度については、勤勉手当の成績率決定に係る勤務成績の評価を実施しました。

手当の種類	内容
扶養手当	○子11,500円（満15歳に達する日以後の最初の4月1日から、満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある扶養親族たる子については、一人につき5,000円を加算） ○配偶者3,000円 ○子・配偶者以外6,500円
通勤手当	○交通機関の利用者 ○自動車などの使用者 使用距離に応じて2,000円～31,600円を支給
住居手当	○家賃などに応じて28,000円を限度として支給
管理職手当	○管理または監督の地位にある職員について、その職務の特殊性に基づき支給（最高額66,400円）
その他の手当	上記のほかに、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当などがあります

■倫理の保持

職員は全体の奉仕者であり、職務は住民から負託された公務のため、職員に注意喚起を徹底しています。
令和6年度は、次の通り文書通知しました。

区分	通知回数
選挙に関する服務規律の確保	1回
倫理の保持	6回

■職員の研修（令和6年度）

区分	内容	受講者数	備考
市主催研修	7講座開催	591	新規採用職員研修、OJT研修ほか
他機関主催研修	宮城県市町村職員研修所	173	階層別研修、専門研修
派遣研修	宮城県派遣など	8	宮城県派遣、自治大学校ほか

■健康管理に関する状況（令和6年度）

区分	対象者	受診者数
定期健康診断	全職員（人間ドック受診者を除く）	937
人間ドック	30歳以上の希望者	371
胃がん検診	35歳以上の希望者	141
子宮がん検診	20歳以上の希望者	346
乳がん検診	30歳以上の希望者	348
大腸がん検診	40歳以上の希望者	166
かくたん検査	希望者	45
前立腺がん検査	50歳以上の希望者	75

市職員の給与などのあらまし令和6年度

市職員の給与などの状況は、市議会での予算や給与条例の審議などを通じて明らかにされています。職員給与の実態などについて、広く市民の皆さんにご理解いただくため、紹介します。
【問い合わせ】総務部人事課 ☎0220(22)2145

職員数および職員の任免に関する状況

■職員数（各年4月1日現在）

区分	職員数		対前年 増減数
	R6	R7	
市長部局 ※	563	559	△4
議会事務局	7	7	0
監査委員事務局	4	4	0
教育委員会	108	103	△5
農業委員会事務局	11	11	0
消防	162	167	5
病院	450	435	△15
上下水道	41	39	△2
合計	1,346	1,325	△21

※ 選挙管理委員会事務局併任含む

■役職別職員数（令和7年4月1日現在）

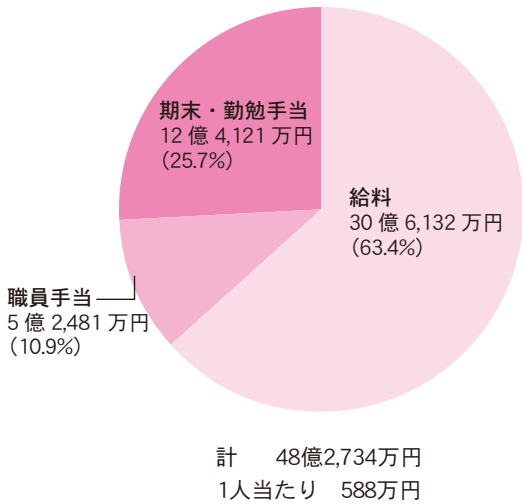
部長級	13	次長級	40	課長級	119	課長補佐級	299
係長級	345	一般職	479	労務職	30	合計	1,325

■職員の退職・採用の状況（令和6年度）

区分	一般行政職	労務職	消防職	医療職	企業職	合計
退職者数	38	1	2	35	2	78
採用者数	48	0	6	22	1	77

職員の給与の状況

■職員給与費の状況（普通会計決算）



■職員の平均給料月額、平均給与月額、平均年齢の状況

区分	一般行政職	労務職 (企業職員を除く)	消防職	企業職 (看護師・准看護師)	企業職 (上下水道)
平均給料月額	317,002円	305,674円	283,520円	324,038円	329,438円
平均給与月額	367,340円	329,369円	342,846円	399,530円	387,861円
平均年齢	41.5歳	56.3歳	35.3歳	45.7歳	43.7歳

※「給与月額」とは、給料月額に諸手当の額を足したものです

■特別職等の報酬などの状況（令和7年4月1日現在）

区分		給料月額等
給料	市 長	911,000円
	副市長	734,000円
	病院事業管理者 ※医師の場合	585,000円 ※851,000円
	教育長	604,000円
(令和 6 年度支給割合)		
期末手当	市 長	6 月期 1.70月分 12月期 1.75月分 合計 3.45月分
	副市長	
	病院事業管理者	
	教育長	

区分		給料月額等
議員報酬	議 長	491,000円
	副議長	425,000円
	議 員	398,000円
(令和 6 年度支給割合)		
期末手当	議 長	6 月期 1.70月分 12月期 1.75月分 合計 3.45月分
	副議長	
	議 員	



市公式ホームページ「市民意見公募手続」

※詳しくは、市公式ホームページをご覧ください

市では、令和8年度から12年度までを計画期間とする各種計画を策定するため、計画案への意見を募集します。

【提出方法】▼「意見を提出する計画(名案)」に対する意見」と明記し、郵送、ファクシミリ、電子メールまたは持参のいずれかで提出してください

▼様式は自由です▼住所、氏名(団体などの場合は所在地、名称、代表者名)、電話番号を必ず記入してください

※電話では受け付けできません

【意見の取り扱い】「個人情報」の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。また、個別の回答はしませんが、意見の概要と意見に対する考え方を取りまとめた上、後日、市公式ホームページで公表します

意見を募集する計画			
計画名	計画期間	募集期間	資料公表場所・意見提出先・問い合わせ
第3次登米市空き家等対策計画	令和8～12年度	12月3日(水)～令和8年1月6日(火)	まちづくり推進部まちづくり推進課(ふるさと定住係) (市役所迫庁舎2階) 〒987-0511 迫町佐沼字中江2丁目6番地1 ☎0220(23)7331 ☎0220(22)9164 ✉tome-life@city.tome.miyagi.jp
第5次登米市男女共同参画基本計画	令和8～12年度	12月12日(金)～令和8年1月13日(火)	市民生活部市民生活課(市民総務係) (市役所南方庁舎2階) 〒987-0446 南方町新高石浦130番地 ☎0220(58)2118 ☎0220(58)3345 ✉simin@city.tome.miyagi.jp
元気とめ食育21計画(第5期)	令和8～12年度	12月12日(金)～令和8年1月13日(火)	市民生活部健康推進課(保健推進係) (市役所南方庁舎2階) 〒987-0446 南方町新高石浦130番地 ☎0220(58)2116 ☎0220(58)3345 ✉kenkosuisin@city.tome.miyagi.jp

※資料は、各担当課のほか、各総合支所市民課、公民館・ふれあいセンター、市公式ホームページでも公表します

令和8年度の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)の要望調査を実施します。

希望する場合は、対象経費や注意事項などを確認の上、申し込みください。国庫補助事業のため、要望調査後に事業内容が変更となる場合があります。

●畜産農家、畜産を営む法人

【事業対象者】認定農業者または認定新規就農者

【対象畜種】和牛繁殖、和牛・交雑種肥育、和牛一貫、養豚

※乳用牛は別途相談

【成果目標】①1頭当たり販売額の増加、②生産コスト(飼料費、労働費、素畜費)の削減、③所得の増加

※①から③のうち一つを5%以上(正規雇用者が常時6人以上の場合8%)で設定し達成する

【必要書類】申請要望書、見積書(税抜、オプション価格個別表示、有効期限)令和8年6月末、最新カタログ、認定農業者または認定新規就農者の認定書(写し)、出荷実績の分かる書類(令和7年1月から12月ま

で、直近の決算書、法人の場合は定款および履歴事項全部証明書(写し)、飼料生産面積の分かる資料

●飼料生産組織(コントラクター、TMRセンター含む)

【事業対象者】農業者が組織する団体、法人など

【要件】10畝以上の飼料生産面積の拡大など

【成果目標】自給飼料収穫量または利用量の増加等を5%以上で設定し達成する

【必要書類】申請要望書、見積書(税抜、オプション価格個別表示、有効期限)令和8年6月末、最新カタログ、直近の決算書、団体の場合は規約、法人の場合は定款および履歴事項全部証明書(写し)、飼料生産面積および受託面積の分かる資料

●共通事項

【申込期限】12月12日(金)

【申請要望書の配布】市公式ホームページからダウンロードするか、問い合わせ先にご連絡ください

【申し込み・問い合わせ】産業経済部農政課(畜産振興係)
☎0220(34)2713

用し、野鳥との接触を防ぐ▼家さんの死亡羽数が増えるなどの異常を見つけた場合は、最寄りの家畜保健衛生所に連絡する▼家さん舎では、出入り時の長靴の履き替え、防鳥ネットの点検など衛生管理を徹底する

【問い合わせ】

▼野鳥Ⅱ産業経済部農林振興課(林業振興係)
☎0220(34)2709

▼家さんⅡ産業経済部農政課(畜産振興係)
☎0220(34)2713

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃厚接触などを除き、人に感染しないと考えられています。

また、野鳥はさまざまな原因で死亡しますので、死んでいても直ちに鳥インフルエンザを疑う必要はありませんが、次のことに注意してください。

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）の対象経費など			
事業名	対象経費	補助率	事業参加の注意事項
畜産農家、畜産を営む法人	▶飼料給与▶畜舎温度制御▶省エネ・電力安定供給▶家畜飼養管理▶搾乳▶衛生管理高度化▶畜産物管理・加工▶飼料播種・追播▶飼料収穫・調製▶その他飼料生産▶スマート農業関連▶草地等管理▶飼料調製▶飼料用米調製▶放牧関連▶飼料保管▶エコフィード調製・給与▶堆肥調製散布	リース事業者によるリース物件の取得に必要な経費(消費税除く)の2分の1以内 ※50万円以上の機械を対象(アタッチメントを除く)	▶令和8年度中(令和9年3月末まで)に納品の見込みのない機械は対象となりません▶既存機械の老朽化に伴う単純更新は対象となりません▶過去に畜産クラスター事業で機械を導入し、現時点で成果目標が未達成となっている経営体(後継者や法人化含む)は、新たに事業参加することはできません▶財産処分制限期間(導入から7年間)の間は、機械を処分または改造することができません。また、リース契約の解約や畜産経営の廃業の場合は、補助金返還となります▶同種・同型機械の要望が複数の場合は、見積合せをすることがあります▶市税や市債権の滞納がないこと。要望内容の確認にあたり、経営状況の確認や現地調査をします
飼料生産組織			

Information

04

各種計画(案)の意見を募集します

Information

01

はっと料理が勢ぞろい 令和7年度日本一はっとフェスティバル

藩政時代から伝わる登米地方の郷土料理「はっと」。しょうゆ味のほか、カレー味や海鮮などさまざまな味が楽しめます。はっと販売コーナーのほか、地場産品販売コーナーや、姉妹都市である富山県入善町から「さところっ」、「さつまっころっ」の販売があります。

広域連携コーナー(栗登一平)もあり、物産販売やご当地キャラが集合し、会場を盛り上げてくれます。

この会場でしか食べられない味もありますので、ぜひ会場にお越しください。

【日時】11月30日(日)午前10時～午後2時

【場所】エスファクトリー東北中江公園

※はっとは1杯400～500円で販売します

【問い合わせ】日本一はっとフェスティバル実行委員会事務局(登米市観光物産協会)
☎0220(52)4648

Information

03

鳥インフルエンザの注意と対策を

▼同じ場所でたくさん野鳥が死亡しているなどの異常を発見した場合は、担当部署に連絡する▼野鳥のふんが靴の裏や車両に付くと、ウイルスが他の地域に運ばれる恐れがあるため、野鳥に近づきすぎない▼死亡した鳥などは、素手で触らない▼鳥を飼養している場合は、ケージなどを使

Information

02

カップハーフマラソン開催に伴う交通規制を実施します

第37回カップハーフマラソンの開催にあたり、コース周辺を交通規制します。通行の際は、現場の係員の指示に従ってください。

【日時】12月7日(日)午前9時10分～正午(予定)

【区間】エスビー食品とよま蔵ジウム(登米総合体育館)東側(一関方面(国道342号線))

【問い合わせ】カップパラソン実行委員会事務局
☎0220(53)1155

17 2025.12

To Me 16

どれくらい
知っていますか
障がいに関するマーク等

 耳マーク
  身体障害者標識(身体障害者マーク)

 ほじょ犬マーク
  障害者のための国際シンボルマーク

 オストメイトマーク
  聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)

 ハート・プラスマーク
  宮城県ゆずりあい駐車場利用証

 ヘルプマーク
  盲人のための国際シンボルマーク

 登米市ヘルプカード

12月3日から9日は「障害者週間」です。国民の障がい福祉について関心と理解を深めるとともに、障がい者の社会参加意欲を高めるための期間です。市では、障がいのある

なしに関わらず、「だれもが自分らしく笑顔で暮らせるまち」とめ」の実現を目指しています。実現には、障がいに対する関心・理解が必要不可欠です。左記のマークは障がい

10 「障害者週間」障がいの理解を深める

下水道は何でも流せるわけではありません。食用油や不織布製の掃除シート、ウエットティッシュなどを下水道に流したり、マンホールの蓋を開けてゴミや雨水を流したり

すると、「詰まり」「悪臭や汚染の発生」「重大な設備トラブル」につながりますので、絶対に流さないでください。私たちの快適な生活環境を守るためにも、下水道は正し

09 生活環境を守るため下水道を正しく使いましょう



■登米市全域の平均額(10㌦当たり、100円未満四捨五入)

地域		平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)
登米市全体	田	13,600	22,000	5,000	2,045
	未整備地域	12,100	20,000	5,000	462
	畑	11,400	15,400	5,300	12

■地域ごとの田(水稲)平均額(10㌦当たり、100円未満四捨五入)

【基盤整備地域】					【未整備地域】				
地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)	地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)
迫	13,900	19,300	5,000	242	迫	13,700	19,300	6,500	66
登米	13,900	18,000	5,000	86	登米	14,200	15,000	14,000	5
東和	10,700	12,000	5,300	8	東和	12,500	15,400	7,000	10
中田	11,400	19,000	5,000	398	中田	10,600	17,500	5,000	75
豊里	14,900	17,000	11,000	156	豊里	10,000	17,000	3,000	38
米山	14,500	20,000	5,000	546	米山	11,900	20,000	5,000	137
石越	13,100	20,000	8,800	198	石越	12,700	20,000	5,000	38
南方	14,300	22,000	10,000	406	南方	12,200	19,900	8,000	90
津山	データ無し				津山	データ無し			

※賃借料情報は物納を除いています。令和6年8月から令和7年7月までの期間で物納は131件あり、重量の平均は70.3kgでした
※畑は、提供できる賃借料情報が少ないため市全域で計算しています
※データ件数が少なく平均額に特徴が見られる地域があります

08 水道使用開始・休止申込インターネット受付開始

12月1日から水道の使用開始・休止をインターネットから申し込みができるようになります。24時間申し込み可能ですが、次の点にご注意ください。

▼開始・休止は、5営業日以降になります▼土曜、日曜、祝日、年末年始にお申し込みの内容は、翌営業日の受理になります▼実際の受付は、水道お客様センターの営業時間内になります

※営業時間 午前8時30分～午後5時15分
【問い合わせ】▼下水道部経営総務課(業務係)
0220(52)3311
▼水道お客様センター
0120(023)151



消防本部では、火災予防に對する知識と関心を高めるため、市内の小・中学生を対象に、防火ポスターコンクールを実施しました。応募作品の中から、審査の結果、入賞作品が決定しました。消防長賞受賞作品は、防火ポスターとして市内に広く掲示し、防火思想の普及啓発に役立てます。

07 防火ポスターコンクール入賞作品が決定しました

【入賞者】(敬称略)▼登米市消防長賞 安部乃々佳(上沼小5年)、佐藤楓音(石越中3年)▼優秀賞 石川結菜(東和小2年)、伊東秀真(石森小3年)、佐藤詩奈(加賀野小4年)、阿部恵美(南方小4年)、浅野桃花(佐沼小6年)、須藤怜奈(佐沼小6年)、佐々木春太(津山中1年)、石川昂潤(新田中2年)、瀬戸綾華(新田中3年)、千葉ひなた(東和中3年)
【問い合わせ】消防本部予防課(予防建築係)
0220(22)1900

「人権週間」特設人権相談所を開設
仙台法務局登米支局および登米人権擁護委員協議会では、特設人権相談所を開設します。人権擁護委員が相談に応じ、相談は無料・予約不要で、秘密は固く守ります。
【日時】12月5日(金)午前10時～午後3時
【場所】登米総合支所、南方公民館、中田農村環境改善センター
【内容】差別、暴行・虐待、セクハラ・パワハラ、いじめ・体罰、名誉毀損・プライバシー侵害、インターネット上での誹謗中傷、ご近所トラブルなど、さまざまな人権問題について
【問い合わせ】仙台法務局登米支局 0220(52)2070

環境事業所だより vol.15

市民の皆さんへ、環境事業所の仕事について、シリーズで紹介しています

粗大ごみの各戸収集をしています

クリーンセンターでは町域別に毎月1回、予約制で家具や家電など粗大ごみの各戸収集をしています。
【予約方法】▶電話または市公式LINEで、収集日の2営業日前の午前中までに予約してください▶市内の粗大ごみ処理券販売店から、必要分の処理券(1枚500円)を購入してください▶収集日の午前8時までに、処理券を貼って自宅前に出してください
※自宅内からの収集は不可。立ち合いは不要。4トン車が通行できない場合は申し込み時に相談

●市公式LINEでは24時間申し込みできます
「ごみ・リサイクル」「粗大ごみ収集申請」から申し込みください。なお、各町域の収集日や処理券販売店は収集カレンダーで確認できます。

市公式LINE「ごみ・リサイクル」「粗大ごみ収集申請」から申請

市公式ホームページ「各町域の収集カレンダー」

【問い合わせ】環境事業所クリーンセンター 0225(76)0102

仙台フィルとコラボ ときめき市民コンサート

「第16回ときめき市民コンサート 仙台フィルとうたおう」(登米文化振興財団主催)は10月11日、水の里ホール・Abebisouで開かれました。

コンサートは、平成17年の登米市誕生を機に始まった音楽イベントで、公募で集まった「とめ市民合唱団」のコーラスを中心に、多彩なゲストを迎えて開催してきました。コロナ禍などの影響により、令和元年の公演を最後に中断していましたが、市制施行20周年を祝い、6年ぶりに開催。岩村力さん指揮の仙台フィルハーモニー管弦楽団と市民合唱団の共演による美しい演奏と歌声が会場中に響き渡り、音楽の秋を彩りました。



73人が集まった市民合唱団は、6月から週1回の練習に励み、素晴らしいハーモニーを披露して観客を魅了しました。

個性あふれる文化祭 市民文化祭で成果を披露

「第17回登米市民文化祭」(登米市文化協会主催)が10月4、5の両日、水の里ホール・Abebisouで開かれ、2日間で約500人が来場しました。

市民文化祭は、文化芸術の発表を通じて本市の未来の文化向上を目的に開催。ステージ発表では、2日間で34団体が日本舞踊、民謡、伝統芸能などを披露し、展示発表では11団体が絵画や陶芸、生け花などを展示しました。ちぎり絵を出品した三浦艶子さん＝迫町永田＝は「個性豊かな作品に出会えるので、毎年楽しみにしています。感動する作品が多く、創作の勉強にもなりますね」と話していました。



今回初めて参加した佐沼高吹奏楽部の演奏では、アンコールの声が上がり、会場全体が一体となって盛り上がりました。

体を動かして健康に 体験型スポーツ大会開催

「元気とめ!! スポーツ大会」が10月13日、オサベフーズ迫体育館で開かれ、232人が参加しました。

大会は、ニュースポーツに触れることを通じて、市民が健康的で豊かな生活を送ることを目的に開催。スポーツチャンバラやモルック、eスポーツなど、計7種目が体験できるコーナーがあり、子どもたちや家族連れなど、たくさんの参加者でにぎわいました。高山ひまりさん(10)＝迫町江合＝は「友達と一緒に来ました。全種目体験しましたが、ディスクッターはフリスビーが的に当たった時に達成感があってすごく楽しかったので、何回も並んで体験しました」と元気に話しました。



バブルボール体験では、ボールを蹴ろうとすると参加者同士がぶつかってしまい、笑い声が溢れて盛り上がりしました。

登米の技や食が集結 産業フェスティバル開催

「第18回登米市産業フェスティバル」が10月5日、オサベフーズ迫体育館とエスファクトリー東北中江公園で開催され、2万人が来場しました。

市内の企業や学校など85団体が出展し、体育館内では各社が製造した製品の展示や体験コーナーが、屋外では登米産牛肉やリンゴなどの市内農産物の販売のほか、油麴井やはっと汁などの飲食コーナーが立ち並び、多くの人が市の魅力を感じて楽しみました。家族で訪れた伊藤碧杜さん(6)＝中田町大柳＝は「射的とミニニス作りが楽しかった。作った椅子は自分の椅子にして、大切に使いたいです」と笑顔で話していました。



登米総合産業高農業科の生徒が育てた花で彩られた20周年記念ロゴマークの前は、記念撮影をする人でにぎわいました。

歴史的建物を美しく 児童が文化財の清掃活動

登米小学校の6年生20人が10月28日、教育資料館(旧登米高等尋常小学校校舎)を清掃しました。

清掃活動は、歴史ある登米町の素晴らしさを再確認し、文化財の校舎を誇りに思い、大切にしていくことを目的に、年1回実施。来館した観光客に、元気よく「こんにちは」とあいさつをしながら、2階建て校舎の教室や廊下を力を合わせて清掃しました。伊藤昭太郎さんは「お客さんが来る校舎がピカピカになるように磨きました。家ではあまり掃除はしないけど、今日は雑巾が真っ黒になるまで掃除して、とても気持ちよかったです。家でもやってみようかな」と笑顔を見せました。



冷たい空気の中、腕まくりをして元気に掃除する児童たち。これからも長く保存していけるように協力してきれいにしました。

秋空にレスラー舞う DEWAプロレス登米大会

「TOME/BATTLE2025 プロレスリングDEWA望遠閣大会」が10月5日、ホテル望遠閣駐車場を会場に開催され、市内外から多くの人が観戦に訪れました。

この大会は、山形のご当地プロレス「プロレスリングDEWA」にレギュラー参戦している社会人メンバーとみやぎ北上商工会青年部のつながりから、プロレスを身近に感じてもらいたいと入場無料で開催。会場にはキッチンカーも並び、来場者は心地よい秋空の下で観戦を楽しみました。多賀城市から訪れた三上結愛さんは「プロレスが大好きで、登米で見られると知って来ました。技の掛け合いがすごかった」と話していました。



コミカルな展開に笑いが起こる場面もあれば、迫力満点の大技に歓声上がる場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。

わたしが描く夢

高橋 妃愛 さん

登米中1年／登米町・八丁田

超話題なエステティシャン

私の将来の夢は、人の疲れを癒やすエステティシャンになることです。

私の母は、重い荷物を持ったりする仕事をしているので、度々「ねー肩揉んで～」と言われます。肩を揉むことは、私自身、疲れることでもあります。揉み終わったときに「ありがとう」と言う、少し疲れがとれたような笑顔の母を見ると「ああ揉んでよかった」と思い、私も満たされた気持ちになります。そして今では自然と父の肩も揉んでいます。揉み終わった後に必ず言われる「ありがとう」という言葉を聞くうちに、たくさんの人を癒やしてあげたいという気持ちが強くなり、将来はエステティシャンになりたいと思うようになりました。

エステティシャンになるまでの道のりは、まだまだ長いですが、これからも多くのことをしっかりと学び、たくさんの人を癒やすことができる「超話題なエステティシャン」になれるように努力していきたいと思っています。

よりそい半世紀

人生を楽しみながら恩返しを

★知り合ったきっかけは

【清公】私が高校の英語教師で、妻が小学校の教師だったんだ。当時、教師同士の集まりがあって、そこで出会ったのがきっかけだよ。

★お互いの性格は

【清公】面倒見がいいね。今も2人でミニデいの企画や運営の手伝いをしてるよ。

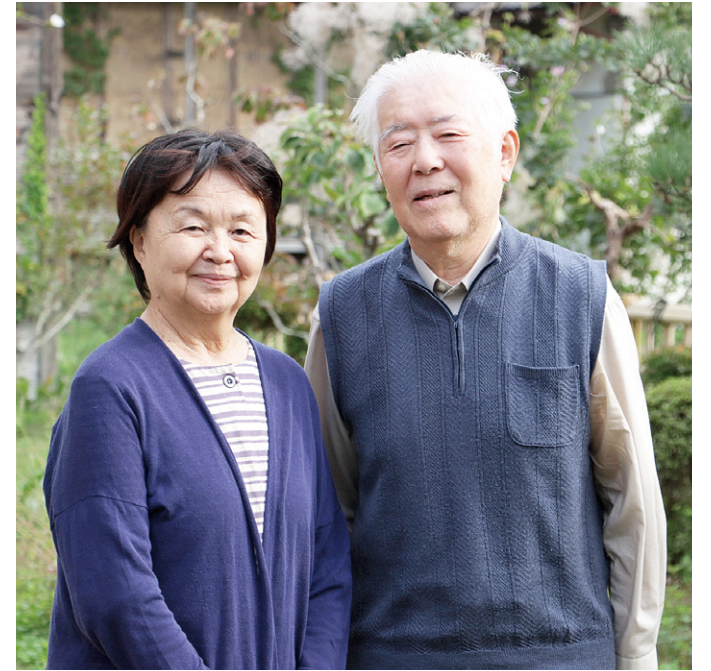
【喜代子】とにかくしゃべる人だから、一緒にいて楽しいよ。近所に出かけても話が長くなってなかなか帰ってこないの。

★結婚当時の思い出は

【喜代子】春休みと夏休みは、主人がホームステイの付き添いで海外に行くことが多かったから、私は私で友達と遊びに行ってたの。

★現在の楽しみは

【二人】今まで数えきれないほどたくさんの人に助けてもらったから感謝してるの。これからも人生を楽しみながら、できる限りの恩返しをしていきたいねって夫婦で話してるよ。



佐々木 清公 さん(78)

喜代子 さん(74)

登米町・入谷／1976(昭51)年4月入籍

市民リレーエッセイ

登米市4Hクラブの柳渕くんよりバトンを受け取りました大友です。私は迫町北方で大友Webデザインとしてホームページ制作や、チラシやロゴのデザイン、パソコンやスマホのトラブル相談などをしております。

柳渕くんとは親子ほどの年齢差があるのですが、彼のつながりは10年近くになります。当時、私が脚本と演出をしていたお芝居に、高校生だった彼が役者として参加してくれたのです。色白で華奢なイメージのある彼は、踊りをやっているためか存在感のある男の子でした。

10年近くたち、彼は家業を継いで立派ないちご農家となりました。現在では彼が会長を務める登米市4Hクラブのメンバーと共に、「登米で会いましょう」というラジオ番組を制作してSpotifyで配信したり、謎解きイベントを開催したり、ゲーム実況を配信したりと、年齢が違う私と一緒に、登米市を盛り上げたいと願い、楽しく活動しています。それが、私が彼らの第2のお母さんと言われるゆえんです。

次号は、菊地 美佳さん＝中田町下道＝へバトンをつなぎます

「若者と楽しく盛り上げる」

大友 久仁恵 さん

迫町・仮屋



わが家のアイドル

【わが家のアイドル応募方法】

右の二次元コードを読み込み、申請してください
※申込状況により、掲載まで数カ月かかる場合があります

【問い合わせ】総務部市長公室(広報広聴係) ☎ 0220(22)2090



阿部 希衣 ちゃん(4カ月)

2025年6月11日生まれ
東和町・米川2区
一雅さんの長女

家族のみんなからかわいがられて、ニコニコおしゃべり上手！これからの成長が楽しみです。



阿部 碧音 くん(2歳)

2023年4月20日生まれ
東和町・米川2区
みなみさんの長男

好奇心旺盛で、わが家のお笑い担当！家族にたくさんの笑いと笑顔をくれる、大切な存在です。

丹野 陽葵 ちゃん(7カ月)

2025年2月25日生まれ
迫町・立戸
莉那さんの長女

いつもニコニコ笑顔の陽葵ちゃん。家族みんなの癒しです。これからもたくさん笑って、すくすく育ってね！



榊原 京 くん(1歳)

2024年8月19日生まれ
登米町・後小路
繁さんの長男

いつもニコニコ笑顔のわんぱくBoy。これからも、笑顔いっぱいでおおきなあれ！



12月の献血日程

6日(土)
イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:00



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(保健推進係)
☎ 0220(58)2116

自殺予防 仙台的のちの電話

誰にも言えない気持ち
聞かせてください。

☎ 022(718)4343

ひきこもり
ひとりで悩まないで
宮城県ひきこもり地域支援センター
☎ 0229(23)0024

こども夜間安心コール

- 電話番号
8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話から)
- 相談時間
毎日午後7時～翌朝午前8時

高齢者の相談窓口 地域包括支援センター

●「人生会議」してみませんか
誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。もしものときに備え、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有するプロセスを「人生会議(ACP)」アドバンス・ケア・プランニング」といいます。

市では、万が一のときに、家族が判断や手続きを進める際に必要な情報を残すため、「エンディングノート」を発行しています。エンディングノートをきっかけに、家族や大切な人と「人生会議」をしてみませんか。ノートは、長寿介護課や各地域包括支援センターで配布するほか、市公式ホームページにも掲載しています。

■高齢者の相談窓口

地域包括支援センター	電話番号
迫地域	0220(22)1152
中田・石越地域	0220(34)7611
石越分室	0228(34)4151
東和・登米地域	0220(53)4811
登米分室	0220(52)5090
米山・南方地域	0220(29)5821
南方分室	0220(58)4311
津山・豊里地域	0225(68)3780
豊里分室	0225(76)4811

で、ぜひご利用ください。

●もの忘れ(認知症)相談

もの忘れや認知症について、気になることや困っていることを相談ください。

【日時】12月18日(木)午前10時
※1件当たり40分
【場所】市役所南方庁舎1階
【申し込み】お住まいの地域包括支援センター(要事前予約)
【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(地域包括支援係)
☎ 0220(58)5551

認知症サポーター

養成講座の受講生募集

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守り、応援する「認知症サポーター」の養成講座を開催します。

【日時】12月19日(金)午後1時30分～3時
【場所】迫保健センター
【募集人数】20人(先着順)
【申込期限】12月17日(水)
【申し込み】迫地域包括支援センター

☎ 0220(22)1152

【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(地域包括支援係)

☎ 0220(58)5551

妊娠・出産・子育てを応援 講座やサロン

●子育て支援講座
【日時】12月3日(水)午前10時30分～11時30分(要電話予約)
【場所】森のくまさん
【内容】子育てワンポイントレッスン、タッチケアなど

【申し込み・問い合わせ】森のくまさん

☎ 0220(34)4105

●よりそい・ほっと相談

【日時】12月16日(火)午前10時～午後3時(要電話予約)
【場所】南方子育てサポートセンター

【申し込み・問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(こども家庭センター)

☎ 0220(58)5557

●わくわくマタニティサロン

【内容】妊娠・出産の経過、妊娠

ぼくわたしむし歯ないんだよ

3歳6カ月健診で
むし歯のなかったこどもたち
(10月応募受付分)



今野 想大くん
(迫町中江)



富士原 穂佳ちゃん
(迫町永田)



富士原 紬衣ちゃん
(迫町上沢)



柴田 望羽ちゃん
(迫町)



佐藤 あさちゃん
(迫町秋洗)



佐々木 奏くん
(中田町神畑)



小室 結優太くん
(中田町神畑)



高橋 美築くん
(登米町後舟橋)



佐久田 紗名ちゃん
(登米町大谷地)



二階堂 仁咲ちゃん
(米山町十日町)



愛場 翔琉くん
(米山町野手谷地)



金澤 和玖くん
(豊里町横町)



及川 綺生くん
(豊里町横町)



渡辺 怜ちゃん
(南方町沢田)



南 維月ちゃん
(南方町峯)



松本 望佑ちゃん
(南方町大岳)



佐々木 陽琉くん
(南方町吉下)

中の過ごし方、お産のしくみ、呼吸法、マタニティヨガ、マタニティブルーについて

【日時】12月10日(水)午前10時～11時45分(要電話予約)

【場所】中田児童館
【申し込み・問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(こども家庭センター)

☎ 0220(58)5557

胃がん検診を
受けましょう

今年度、市が実施した胃がん検診を受けられなかった人を対象に、未検者検診を実施します。自分や家族のため、この機会に受診しましょう。

【対象者】35歳以上の人(職場や病院などで受診した人を除く)

【日時】12月13日(土)午前7時30分～10時30分

【場所】迫保健センター

【個人負担額】1800円

※検診部位の病気などで治療中または経過観察中の人は、主治医に相談してください

※受診票を紛失した人や、受診を希望する人は、各総合支所に連絡ください

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(保健推進係)

☎ 0220(58)2116

保健所の 各種相談事業

●HIV・クラミジア・梅毒抗体検査、肝炎(B型・C型)ウイルス検査、骨髄バンクの登録

【日時】12月10日(水)、24日(水)／午前10時～11時30分
【申込期限】実施日の2日前
【申し込み・問い合わせ】石巻保健所登米支所(疾病対策班)

☎ 0220(22)6119

●女性のための出張相談

【日時】12月17日(水)午前10時30分～午後4時(1人約50分)

【申込期限】12月16日(火)午後3時

●高次脳機能障害家族交流会

【日時】12月19日(金)午後2時～3時30分

【申込期限】12月12日(金)

●アルコール等依存症家族教室・個別相談

【日時】令和8年1月7日(水)▼家族教室Ⅱ午後1時30分～3時▼個別相談Ⅱ午後3時～4時30分

【申込期限】12月24日(水)

●共通事項

【場所】石巻保健所登米支所

【相談料】無料(要電話予約)

※いずれも託児不可

【申し込み・問い合わせ】石巻保健所登米支所(母子障害班)

☎ 0220(22)6118

情報場

Information

催し

石ノ森章太郎ふるさと 記念館光のページェント

約3万5千球の電飾によって庭木や小川が彩られ、幻想的な世界を創り出します。

【日時】12月1日(月)～25日(木)／午後5時～10時
【場所】石ノ森章太郎ふるさと記念館庭園

【入場料】庭園内の散策は無料
【問い合わせ】石ノ森章太郎ふるさと記念館
☎ 0220(35)1099

トキとの共生を目指して シンポジウムを開催

トキとの共生に向けた理解を深めるシンポジウムを開催します。

夜間納税相談窓口 (12月・1月分)

【日時】12月18日(木)
1月29日(木)
午後7時まで
【場所】総務部税務課
(迫庁舎1階)
【問い合わせ】
総務部税務課(徴収対策係)
☎ 0220(22)2169

【日時】12月13日(土)午後2時～4時30分

【場所】中田農村環境改善センター

【対象者】市内に在住または通勤・通学している人

【募集人数】100人(要事前申込)

【参加費】無料

【申込期限】12月10日(水)

【申し込み・問い合わせ】産業経済部観光物産戦略課(観光戦略係)
☎ 0220(34)2759

世界各国の魅力に触れる 登米市国際まつり開催

登米市青少年海外派遣団の研修報告発表や民俗芸能の鑑賞、世界各国の郷土料理の試食会などを実施します。国際交流に興味のある人は、ぜひご来場ください。

農地利用最適化推進委員 欠員による募集

【募集人数】1人

【役割】農地集積・集約化、遊休農地発生防止の働きかけ、農地パトロール、会議への出席など

【担当区域】中田町上沼の区域

【任期】委嘱の日から令和8年7月23日まで

【報酬】月額4万6千円

【申込資格】農地などの利用最適化推進に熱意と識見を持ち、担当区域内で農地などの最適化推進の活動ができる人

【申込方法】推薦(農業者3人以上の連名または団体等による推薦または自ら応募。規定様式に記入し、必要書類を添

マイナンバーカード 申請サポート

マイナンバーカードの申請を検討している人は、ぜひ、ご利用ください。予約不要です。

【場所・日時】

- ① 市役所南方庁舎 2階
12月3日(水)
午前9時30分～午後4時
- ② 市役所迫庁舎 3階
12月10日(水)
午前9時30分～正午
- ③ 市役所南方庁舎 1階
12月17日(水)
午前9時30分～午後4時
- ④ 市役所中田庁舎 2階
12月24日(水)
午前9時30分～正午

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(戸籍係)
☎ 0220(58)2118

募集

会計年度任用職員を 募集します

令和8年度のパートタイム会計年度任用職員の任用希望者を募集します。

【職種】保育士、児童館・子育て支援指導員、幼稚園講師、看護師、准看護師、運転業務員、事務補助員など

【登録方法】パソコンやスマートフォンからの電子申請が可能です。電子申請ができない人は登録申請書を、人事課、医療局、各総合支所に持参、または郵送してください

和11年7月23日

共通事項

【申込方法】推薦(農業者3人以上の連名または団体等による推薦)または自ら応募。規定様式に記入し、必要書類を添えて提出してください

【申込期間】11月25日(火)～12月24日(水)

【報酬】月額4万6千円

※詳細は市公式ホームページをご覧ください

【申し込み・問い合わせ】農業委員会事務局(農政総務係)
☎ 0220(34)2317

老人クラブの 新規会員を募集

老人クラブは、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動をするとともに、知識や経験を生かし、自らの老後を健康で実り豊かなものにするための自主的なグループです。住み慣れた地域で、一緒に楽しい時間や生きがいを感じる時間を過ごしませんか。

【入会資格】市内在住の60歳以上の

【申し込み・問い合わせ】登米市老人クラブ連合会(登米市社会福祉協議会)
☎ 0220(21)6310

住宅入居者を募集



▶ 津山柳津四丁目特定公共賃貸住宅 (H15年築)

住所＝津山町柳津字本町67番地
募集戸数＝1戸(平屋戸建住宅・1LDK)
家賃月額＝3万円～4万7,000円
駐車場利用は1台のみ(別途2千円)



市公式ホームページ「職員採用情報」

【入居資格】
※特定公共賃貸住宅は、所得が定められた範囲の世帯であることなどの入居要件があります。
※詳細は住宅都市整備課または各総合支所市民課備え付けの募集要項を確認ください
【申込期限】12月4日(木)※期限厳守・郵送不可
【申し込み】各総合支所市民課、住宅都市整備課
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)
☎ 0220(34)2316
※特定公共賃貸住宅の他に、定住促進住宅(迫・中田・東和・豊里・石越)も随時募集しています。入居を希望する人は、問い合わせください

【対象者】農地などの利用最適化推進に識見を持ち、担当区域内で現場活動ができる人

【定数】30人

【任期】令和8年7月24日～令和11年7月23日

【募集】24人

【役割】農地集積・集約化、遊休農地発生防止の働きかけ、農地パトロール、会議への出席など

【対象者】農地などの利用最適化推進に識見を持ち、担当区域内で現場活動ができる人

【定数】30人

【任期】令和8年7月24日～令和11年7月23日

DAIYU HOME CENTER
ダイユー・イト 登米中田店

お正月飾り各種
大量入荷しました!!

店内にて
100円ショップ
好評営業中!

Watts with

税抜3,000円
以上お買上げで
毎月8のつく日
+ 毎週土曜日

5倍
ポイント

ダイユー・イト 登米中田店案内図 広告

ウジエスーパーさん
マツモトキヨシさん
菊王堂さん
JAみやぎさん
中田総合体育館
登米市立宝江小学校

コープさん
ケーズデンキさん

ヨークタウン内
ダイユー・イト 登米中田店

宮城県登米市中田町石森字駒率400
TEL 0220-23-9433

DAIYU HOME CENTER
ダイユー・イト

営業時間 あさ8時～よる8時まで

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて・・・クマネンドリームガス 広告

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

快適生活 創造企業
ドリームくん

災害時安定供給施設

- なごみの家きらり
- 関ネオウイング
- コインランドリー・清潔空間
- 燐ケアサービス(株)
- コインランドリー・じゃぼん玉

TEL.0220-22-2415(代)

令和8年度小中学校講師
登録会参加者募集

県東部教育事務所管内の小・中学校に、講師として勤務を希望する人の登録会を開催します。

【日時・対象者】▼12月24日（水）午前9時～10時／小学校講師▼12月24日（水）午後1時30分～2時30分／中学校講師▼12月25日（木）午前9時～10時／講師（養護・栄養）、代替栄養職員、事務職員

【場所】県石巻合同庁舎

【申し込み・問い合わせ】県東部教育事務所（教育学事班）☎0225（95）7096



一 ー ジ 育
ホ ー ム ペ ー ジ
公 式
県 東 部 教 育 事 務 所

登米市企業ガイド
参加企業を募集します

企業の概要説明など、就職希望者の就職活動を支援する企業を募集します。

【日程】令和8年1月27日（火）
【場所】エスビー食品とよま蔵
ジ・アム（登米総合体育館）
【申込期限】12月12日（金）
※詳細は市公式ホームページをご覧ください

【申し込み・問い合わせ】県東部教育事務所（教育学事班）☎0225（95）7096

マイナンバーカードの
受け取りは早めに

マイナンバーカードを申請し、交付通知書が届いた人は、住所地の総合支所で受け取りの手続きをしてください。詳しくは、交付通知書をご確認ください。

【交付時間】平日の午前9時～午後5時（正午～午後1時を

【問い合わせ】産業経済部地域ビジネス支援課（企業振興係）☎0220（34）2706

男女共同参画審議会
委員を募集します

【募集人数】1人

【役割】男女共同参画の推進に関する計画の策定および変更に関する調査審議など

【会議回数】年2回程度

【応募資格】▼市内に住所を有し、現に居住している人▼男女共同参画に関心のある人▼公共性の観点から意見を述べられる人▼市職員および市議会議員でない人

【任期】委嘱の日から令和10年2月9日まで

【応募方法】次の事項を記載した「申込書」と「作文」を提出
①住所・氏名・電話番号・生年月日②職業・勤務先③経歴（職歴・学歴など参考となる事項）
※作文は「男女共同参画社会」と題し、400～800字程度。様式は自由

【応募期限】12月19日（金）必着
※申込書は市民生活課に備えてあるほか、市公式ホームページに掲載しています。
※作文は「男女共同参画社会」と題し、400～800字程度。様式は自由

除く）

※要予約。これ以外の時間を希望する場合は予約時に相談ください

【問い合わせ】市民生活部市民生活課（戸籍係）☎0220（58）2118

聴覚障がい者支援
みみサポサロンを開催

手話や筆談など、安心できるコミュニケーション手段で対応するサロンです。お気軽にお越しください。

【応募・問い合わせ】市民生活部市民生活課（市民総務係）☎98710446／登米市南方町新高石浦130番地☎0220（58）2118

お知らせ

年末年始消防特別警戒を
実施します

市消防本部では、12月1日（月）から令和8年1月3日（土）まで、年末年始消防特別警戒を実施します。

年末年始は、寒さが一段と厳しさを増し、火の取り扱いや暖房器具を使う機会が増える中、慌ただしさや、ちょっとした不注意から火災の発生が多くなります。この期間は消防体制の強化を図り、消防車が警鐘を鳴らしながら出火防止広報を実施します。また、火災予防リーフレット、防火啓発グッズなどを配布する防火広報活動も実施します。

もう一度、身の回りの火の用心を徹底し、火災のない年末年始を過ごしましょう。

防火広報活動

【日時】12月13日（土）午前10時～11時

【場所】イオンタウン佐沼

【日時】12月8日（月）午後1時30分～3時30分

【場所】市役所南方庁舎2階大・中会議室

【内容】モルックに挑戦、聴覚障がいに関する相談
※事前申し込みは不要です。
動きやすい服装でご参加ください

【問い合わせ】宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）☎022（393）5501
FAX022（393）5502

農林業者を支援
農林業災害対策資金

原油価格・農業資材などの物価高騰および子牛価格下落により、農林業経営に影響・被害があった農林業者が借り入れた農林業災害対策資金に対して、利子補給することにより、経営の維持および安定を支援します。

【貸付利率】0.25～1.30%
【償還期間】5年以内。ただし、個人で150万円を超える貸付の場合は7年以内
【貸付限度額】600万円
農林業所得が総所得の過半に満たない場合は300万円または影響額から共済金などの額を減じた額のいずれか低い額

【問い合わせ】消防本部警防課（警防係）☎0220（22）1901

一般競争入札で
市有財産を売却します

【売却物件】▼土地（登米市石越町北郷字長根151番6／宅地／566.92平方メートル／最低売却価格360万1000円）▼土地・建物（登米市登米町寺池桜小路132番2／宅地／2096.67平方メートル／RC造2階596.70平方メートル／最低売却価格3739万7000円）

【申込期限】12月5日（金）

【申し込み・問い合わせ】総務部総務課（財産係）☎0220（22）2091

ペーパーティーチャー
対象説明会を開催します

教員免許を持ち、県内の公立学校で講師などの勤務を考えている人を対象に、説明会を開催します。

【日時】12月7日（日）午前10時～11時30分

【場所】県石巻合同庁舎

【内容】講話、講師の待遇・登録方法、教員免許状などの説明、個別相談（希望者）

【申込期限】令和8年2月27日（金）

【申し込み】市内の農業協同組合、銀行、信用金庫、信用組合
※詳細は市公式ホームページをご覧ください

【問い合わせ】産業経済部産業総務課（農業経営支援係）☎0220（34）2716

インターネット公売を
実施します

市税などの滞納により市が差し押さえた財産のインターネット公売を実施します。
【公売場所】KSI官公庁オークション

【参加申込期間】令和8年1月8日（木）午後1時～26日（月）午後11時
【不動産】▼土地（登米市南方町照井／田／982平方メートル）▼土地（登米市南方町新一ノ曲／田／1909平方メートル）

※令和8年1月13日（火）までに農業委員会への申請が必要です

【公売方法】期間入札

【入札期間】令和8年2月2日（月）午後1時～9日（月）午後1時

【問い合わせ】総務部税務課（徴収対策係）☎0220（22）2169

人と環境への
新しい優しさを目指して
お気軽にご相談下さい

株式会社 清建

TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

環境プロバイダ

法人格取得済の環境会社

株式会社 清建物流

TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535

株式会社 リースキン宮城

TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所

株式会社 はさま看護婦・家政婦紹介所

すずらん保育園

TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

一日一組限定の特別な空間

萩

セレモニーホール 萩

市民葬祭

誠香社

24時間受付

0220-34-4856 (代表)

29 2025.12

To Me 28

12月の納税

市県民税・・・4期
国民健康保険税・・・7期
介護保険料・・・7期
後期高齢者保険料・・・6期
忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限／1月5日(月)

登米市の人口・世帯数
(令和7年10月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			(前月比)
		男	女	計	
迫	7,783	9,162	9,577	18,739	(▲2)
登米	1,722	1,999	2,176	4,175	(3)
東和	2,162	2,564	2,593	5,157	(▲16)
中田	5,291	7,113	7,350	14,463	(▲26)
豊里	2,149	2,890	2,950	5,840	(▲16)
米山	2,763	3,882	3,958	7,840	(▲15)
石越	1,449	2,036	2,006	4,042	(▲9)
南方	2,718	3,784	3,916	7,700	(▲26)
津山	1,089	1,287	1,432	2,719	(▲1)
合計	27,126	34,717	35,958	70,675	(▲108)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況
(令和7年10月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R7	R6	増減数
人身事故発生件数	45件	82件	▲37件
死者数	0人	2人	▲2人
負傷者数	58人	98人	▲40人
物損事故発生件数	1,095件	1,010件	85件

※R7年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

県内では、例年11月中旬頃に初雪が降ります。早めに冬用タイヤへ交換するなど、冬道の交通事故を防ぎましょう。

10月の災害件数

火災 救急 救助
3件 303件 2件
(27件) (3,205件) (24件)

令和7年累計
前年同月 1件 311件 5件

空気が乾燥し火災の発生しやすい季節です。暖房器具の周りに燃えやすい物を置かない、コンセント周辺のほこりを清掃するなど、火災予防に努めましょう。

ハローワークはさま発行求人情報

ハローワークはさまで発行している求人情報を掲載
掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

をかぶせて、ぬるま湯をかける▼蛇口や水道管が破裂したときは、水抜栓を閉めてから指定給水装置工事業者に修理を依頼する▼水抜栓の場所が分からないときは、破損箇所にタオルを巻きつける

※修理費用は、全て自己負担となります。熱湯を直接かけると、蛇口などを破損させると、恐れがあります。指定給水装置工事業者は、上下水道部ホームページで確認するか、水道お客様センターに問い合わせください

【問い合わせ】▼上下水道部経営総務課(業務係)
☎0220(52)3311
▼水道お客様センター
☎0120(023)151

相談

生活や仕事などの悩み相談に応じます

【日時】①12月9日(火)②23日(火)／午前10時～午後4時

【場所】①錦織公民館②上沼ふれあいセンター

【相談料】無料

【問い合わせ】そ・えーる登米☎0220(23)8610

障がい者の自立に向けてしごと相談を開設

【日時】12月23日(火)、午前9時30分、午前11時、午後1時30分、午後3時(要電話予約)
☎0220(21)6310

社会福祉協議会生活相談のお知らせ

【日時】12月4日(木)午前10時～11時30分

【場所】▼中田老人福祉センター▼米山総合保健福祉センター▼津山老人福祉センター

【問い合わせ】登米市社会福祉協議会
☎0220(21)6310

借金に関する無料法律相談

【日時】12月19日(金)午後1時～3時50分(要電話予約)

【場所】とめ市民活動プラザ

【担当】開発健次(弁護士)

【相談申し込み】
☎0220(58)2117

【相談料】無料

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)
☎0220(58)2118

寄付

ご寄付いただき、ありがとうございます。 (9月受納)

医療法人社団恭謹会上杉

皮膚科医院様／児童用図書385冊

●伊藤富士子様／朗読絵本5冊

●仙北信用組合様／現金20万円

●市外在住個人(匿名)様／ホワイトボード1台

●公益財団法人ベルマーク教育助成財団様／津山小学校用ワイヤレスマイク、ワイヤレスミキサー、スーパールイン引き、特別支援ソーシャルスキルトレーニングセット

※市への寄付については、市公式ホームページにも掲載しています

【問い合わせ】総務部総務課(財産係)
☎0220(22)2091

【問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(市民活動支援係)
☎0220(22)2173

【日時】12月4日(木)午前10時～11時20分

働く人を応援
勤労者融資制度

市は、東北労働金庫と提携し、勤労者の皆さんの生活安定を目的に低金利で各種資金を融資しています。

【対象者】▼登米市に住所を置

除雪作業にご理解とご協力を

市は、積雪深がおおむね10センチとなった場合、幹線道路から除雪作業を実施します。除雪が完了するまで時間を要しますので、ご理解ください。なお、除雪作業により生じた自宅付近の雪だまりは、住民の皆さんで除雪していただくよう、ご協力をお願いします。

積雪や路面凍結によって走行などに支障があると思われる場合は、市または県に連絡してください。

【問い合わせ】▼市道Ⅱ各総合支所市民課または建設部建設総務課(道路河川管理係)
☎0220(34)2365

▼国道・県道Ⅱ県東部土木事務所登米地域事務所(道路管理班)
☎0220(22)2716

水道管の防寒対策はお済みですか

●水道管防寒対策

▼凍結防止用ヒーターのコンセントは確実に差し込む▼長期間留守にする場合などは、水抜栓を使い水道管の水を抜

く▼メーターボックス内は、保温材や発泡スチロールで防寒する

※メーター保温材は12月から水道お客様センターと各総合支所で無料配布します

●凍結応急手当

▼凍ったところにタオルなど



勤労者会入
研修み入
族研込み
交流し力
家申し力
交申し力

【場所】登米市南方庁舎2階大会議室

【対象者】要支援・要介護認定を受けている家族を在宅で介護している人

【定員】30人

※最少催行人数2人。開催日の2日前までに参加人数が1人以下の場合中止します

【参加費】無料

【申込期限】12月2日(火)

【申し込み】▼二次元コード先入力フォーム▼市公式ホームページに掲載の申込書をファクシミリまたはメール▼電話

【申し込み・問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(地域包括支援係)
☎0220(58)5551
☎0220(58)2375
✉choyukaigo@city.tome.miyagi.jp

ねんきんだより

国民年金保険料は、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除されます。令和7年1月1日から12月31日までに納付した国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象です。令和7年中の納付であれば、過年度分の保険料や追納された保険料も控除の対象になります。

社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要です。このため、日本年金機構から、「社会

ねんきんだより

国民年金保険料は、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除されます。令和7年1月1日から12月31日までに納付した国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象です。令和7年中の納付であれば、過年度分の保険料や追納された保険料も控除の対象になります。

社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要です。このため、日本年金機構から、「社会

ねんきんだより

国民年金保険料は、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除されます。令和7年1月1日から12月31日までに納付した国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象です。令和7年中の納付であれば、過年度分の保険料や追納された保険料も控除の対象になります。

社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要です。このため、日本年金機構から、「社会

ときめき人

Tokimeki bito



新しいことへの挑戦を続け
「みやぎ園芸振興大賞」受賞

石ノ森農場

「従業員と共に、日々目標を立てて、目の前の仕事と、向き合っています。その取り組みを認めていただきありがたいです」と、石ノ森農場代表取締役の山内健太郎さんは控えめに話す。

同社は、8月に開催された宮城県園芸振興大会で「みやぎ園芸振興大賞」に輝いた。国のキュウリ指定産地である本市において、県内で初めて環境制御設備付低コスト耐候性ハウスを導入。これにより、キュウリの環境制御技術が県内に広まるきっかけとなり、本市のキュウリ生産者の収量向上に貢献してきた。また、地域の子どもたちへの食農教育、学校給食への食材提供を通じた地産地消への取り組みも評価され、大賞受賞となった。

山内さんは創業当初を振り返り、「初めは会長で

ある父と二人で始めた農業でしたが、『地域の農業を守り、新しいことに挑戦したい』という思いから法人を立ち上げ、今もその思いは変わりません」と力強く話す。現在は、社員7人、パートタイマー15人が一丸となって、キュウリ・米・切り花などを生産し、スーパーなどにも販路を広げている。海外からの技能実習生の受け入れも視野に入れており、現地の日本語学校を視察するなど、新たな取り組みへの準備も進めている。

「将来的には輸出という夢もありますが、まずは栽培技術をさらに磨き、地域全体の園芸振興に貢献していきたい。それが、地域の農業を守ることに繋がると信じています」と語る。農業の未来を見据え、石ノ森農場の挑戦はこれからも続いていく。

編集後記

▼特集を担当。取材の先々で出会う、数えきれないほどの笑顔こそが「地域にぎわいは必要か」という問いへの答えだと感じました。イベントやサークル活動に足を運ぶことも、にぎわいの種を育てる大切な一歩。普段インドア派の私も、もう少し外に出かけてみようと思いました。(添田)

▼教育資料館を清掃する、登米小学校の児童を取材しました。現地で待っていると、バケツと雑巾、ほうきを持って元気いっぱい学校から歩いて来た子どもたち。とても寒い日でしたが、協力して一生懸命掃除をしている姿を見て、気持ちほっこりでした。(森田)

▼この秋は、プロの演奏や高校生の吹奏楽、中学生の合唱など、音楽に触れる機会が多くありました。聴いていると、ポジティブな気持ちになって創造力が増したような気分。昔から音楽が好きなので、これからも日常的に触れていこうと思います。歌うのは苦手なんですけどね。(高橋)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報を配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>